



弘法寺 梵鐘
(吳市有形文化財)



本堂から安登方面を臨む
その向こうに来島海峡大橋が見える



伊音城 弘法寺



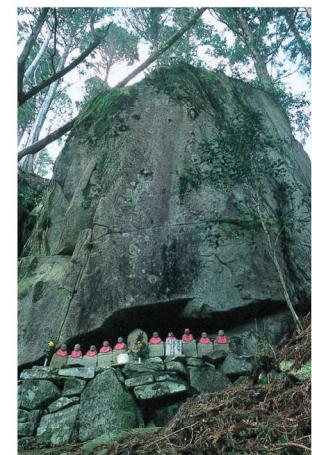
弘法大師



弘法寺 奥ノ院岩屋 (吳市有形文化財)
(弘法大師が修行された岩窟)

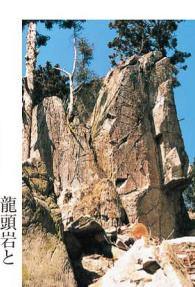


飛岩から安浦湾を経て
尾道方面を臨む



『野路山 伊音城
八十八ヶ所』
(吳市有形文化財)
巨岩奇岩の祭祀場所

野路山 伊音城八十八ヶ所は、岩場六ヶ所、お堂三ヶ所の九ヶ所に祀られておりその一ヶ所毎に十体の尊像を主体とし、何れも中央に觀世音、不動明王、地藏菩薩、かん千音菩薩、毘沙門天、釈迦、勢至菩薩、阿彌陀様等が祀られているので八十番から八十八番以外は全部十一尊が祀られている。



龍頭岩と
お大師像



岩見の場



『玉すだれの滝』

野呂高原で唯一の滝である。弘法寺から歩いて5分、飛岩の真下に位置し、高さ20メートルの巨岩が連なる中に自然が作り上げた見事な造型の頂上より、すだれのように落ちてくる事からこの名称がついたと言われている。荒々しい岩肌を清楚に落ちてくる水とのアンバランスが美しく見事である。又、冬季には滝一面がつららで覆われ、海の見える所での氷の芸術は見る人を感動させる。